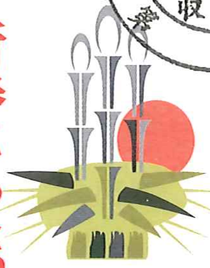
ふれあいネットワーク

雄和地区社協だより

No. 39　平成２５年元旦

発行・編集：雄和地区社会福祉協議会
電話　018−886−5071
FAX　018−886−5077
（雄和ふれあいプラザ内）

社会福祉協議会 秋田市
25.1.04
収受



謹賀新年

新春にあたって

雄和地区社会福祉協議会　会長　伊藤　憲一

輝かしい新春を迎えました。

皆様明けましておめでとうございます。

旧年中は、雄和地区社協にご支援ご協力を賜り誠にありがたく心から感謝申し上げます。

社会福祉の充実はいつの時代も大きな課題であり、行政も社協も一体となって様々な事業展開を繰り広げており、特に高齢者対策は大きな課題です。

私は一昨年の秋田市社会福祉大会の春の座談会で「買物難民」という表現が適切かどうかわかりませんが、限界集落を中心に、一人暮らしの高齢者の方々で日常の買物ができない方々がいるのではないか、と提案し、市社協から市役所にお願いしたところ、買物支援バスを購入していただきました。

十月から雄和河辺地区を対象に実施、今のところ御所野方面での買物をしていただいておりますが、皆様から大変喜ばれております。

こうした事業も、町内各戸から会費を頂いて実施しているものであり、年間を通して今後とも皆様からの会費を原資に行政の支援も仰ぎながら、頑張って参りたいと存じますので、新しき年も皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げ、年頭のあいさつとさせていただきます。

▲買物バスに乗り、スーパーで楽しく買物

赤い羽根 共同募金運動

皆様のご協力ありがとうございました。

十月一日から赤い羽根共同募金運動を展開してきましたが、戸別募金をはじめとして、法人、小中学校、職域と幅広く地区内の多くの皆様のご協力をいただきました。

その結果、平成二十四年は、目標額にはとどきませんでしたが、百六十三万六千七百十円と、多額の善意をいただきました。

後日、秋田市共同募金会から配分される額を、二十五年度の敬老福祉大会、生き活きふれあいの集い、サロンの開催や各団体への助成等の事業に活用されます。

ご協力ありがとうございました。

過去5年間の募金の実績（単位：円）

	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
戸別募金	1,552,800	1,535,050	1,533,000	1,525,480	1,439,620
法人募金	112,000	111,000	109,000	103,000	110,000
職場募金	58,079	45,994	48,549	52,684	49,346
学校募金	86,231	51,645	59,200	57,408	37,744
合　計	1,809,110	1,743,689	1,749,749	1,738,572	1,636,710

ありがとうございました。

善意のご寄付

香典返し

○福原　昭夫さん（神ヶ村）	３０，０００円
○瀧澤　英樹さん（新波）	３０，０００円
○大守　テイ子さん（平沢）	１００，０００円
○佐藤　正人さん（高野）	３０，０００円
○藤原　重規さん（山崎）	３０，０００円

平成２４年８月１日から１２月１９日までに寄せられたものです。

ご寄付をいただき、厚くお礼申し上げます。皆様からいただいた善意を地域福祉に役立たせていただきます。

ありがとうございました。

▲「手を使う。頭を使う」 長生き保証? 『いきいきサロン』

掲示板

雄和ふれあいプラザ『いきいきサロン』

☆みんなで楽しく体を動かしてみませんか！
☆動きやすい服装で参加してください。お待ちしております。
☆日程は、次のとおりです。

①１月17日（木）ＡＤＬ体操
②２月21日（木）　〃
③３月21日（木）　〃

平尾鳥での3B体操。「心も体もリフレッシュ！」これで、またまた寿命も延びるなあ。

■編集後記■

地区社協だよりの紙面が変わって２回目となりました。基本的に年３回の発行と決めて編集をしております。地区内の情報伝達として有効な手段と考えておりますが、良し悪しを含め、皆様からきたんのないご意見を伺えれば幸いと思っています。

平成二十四年もいろいろなことがありましたが、最後に又、民意が変わりました。

社会の情況変化があっても、福祉活動は停滞することができません。

雄和地区社協も変化に惑わされることなく、地区に密着した活動を続けたいと思っています。平成二十五年は明るく、飛躍できる年になるように期待したいものと思っています。（牧）

敬老福祉大会 盛大に開催

楽しがったすな。

雄和地区社協の一大事業となっている敬老福祉大会が九月十六日（日）に雄和体育館を会場に盛大に開催されました。

昨年は大雨、今年は猛烈な残暑に見舞われたにもかかわらず、当日はバス利用者だけで三百三十五名（大正寺八十三名、戸米川五十七名、種平四十七名、川添百四十八名）の皆さんが出席、来賓の石井副市長、市社協の菅原副会長のほか、民生児童委員やボランティア等のスタッフも含め、約四百五十名が参加し、大イベントとなりました。

▲長寿を祝う記念品が贈られました。

皆さんのおかげ

式典では、伊藤会長が「雄和の活力があるのは皆さんのおかげ、いつまでも元気でいてください。」と式辞を述べた後、長寿を祝して八十歳と九十歳を迎えた方々に記念品が手渡されました。

この後、出席者を代表して斉藤伸勇さん（繋）が、「高齢化社会が進み、一人暮らしや高齢者家庭が増える傾向にあるが、お互いに情報交換や交流を広げ、孤独にならず、これまでの経験を生かし、地域のために役立てたい」と、今後の意気込みを述べました。

▲今年もぜひ、ご参加ください。

大会は、二部構成で後半は演芸を見ながらの懇親会となっており、秋田県赤十字芸能奉仕団と雄和芸能ボランティアの皆さんによる唄と踊りに、参加者の皆さんは手拍子を打ちながら、笑顔いっぱいの一日を過ごしていました。

今年も、ぜひ参加を

敬老福祉大会は、七十五歳以上の方を対象として、秋田市からの補助金を基に、秋田市内三十八地区で行われていますが、雄和地区では七十歳以上の方々に参加を呼びかけています。

下表に示したように、参加者が年々減少傾向にありますが、雄和に在住であれば、どなたでも自由に参加できますので、お申し込みください。

対象者と参加者数（単位・人）

	75歳以上	卒寿	傘寿	参加者
平成17年度	1,383	35	95	423
平成18年度	1,315	20	115	497
平成19年度	1,362	34	112	464
平成20年度	1,444	24	100	433
平成21年度	1,463	47	108	444
平成22年度	1,497	32	138	401
平成23年度	1,494	33	99	364
平成24年度	1,502	52	97	360

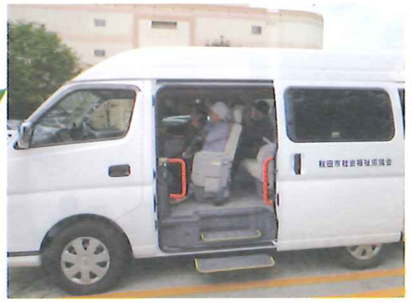
▲ステージでは踊りが披露されました。

買物支援事業

無料送迎バス運行

日常の買物に不自由していませんか！

商店の閉店や交通事情、高齢化など周囲の環境の変化により、買物に行けない人が増えて、「買物難民」とさえ言われるようになりました。


ステップ（階段）と手すりが付いていて、乗り降りも快適で安全。

このようなことを考え、雄和地区社会福祉協議会では、このほど秋田市社会福祉協議会の指導を受け、買物専用の車を運用することとなりました。

十月からモデル的に中ノ沢と神ヶ村の希望者を乗せ、月１回の割合で市内のスーパーマーケットに向かっています。

■利用対象者は

①近くに買物をする店舗がない

②公共交通機関その他交通が不便

③車を運転する人がいない

④一人で店舗まで行くことが困難

などに該当する方が対象となりますが、ほかに地区社協が認めた方々でも利用することができます。

また、利用する方は保険登録が必要ですので、申し出ていただくこととなっています。

現在、利用者の方々には大変重宝がられておりますので、今後、計画的に利用範囲を広げていくことになると考えておりますので、ご相談ください。

▲ボランテイアが付き添うので、安心

■運行内容など

①月に１回程度、ご自宅からスーパー等まで無料で送迎します。

②買物時間は一時間程度を予定しています。

③付き添いボランティアも同乗しますので、安心してお買物ができます。

④ご利用を希望する方は、保険加入のため、登録（無料）が必要です。

外に出るだけでも若返る。いざ、まちへ！

一人暮らしの交流会（生き活きふれあいの集い）

再会を期しながら…

雄和地域内で60歳以上の一人暮らしの方が170名ほどおられますが、このほど、ふるさと温泉ユアシスで交流会が開催されました。

ゲームで体をほぐしたり、温泉につかったり、DVDを鑑賞したりと、日ごろ、話し相手に恵まれない分、活発に動き回り、笑顔が美しく光っておりました。

民児協や包括支援センターの協力を得て行っておりますが、次回は6月ころになる予定です。再会を期して、手を振りながら別れた25名の皆さんでした。